

柴田安彦（日本共産党）

矢作川水系との連絡管  
を使い安定給水を

**問** 矢作水系との連絡管を使い、二つの水系を一つの水源として利用すれば一億トンの設楽ダムは必要なくなると思うがどうか。

また、受水量の平準化を行うために、配水池水位を適切に管理し、契約水量をさらに抑えて経費の節減を図るべきではないか。

**答** 愛知県企業庁によれば連絡管を使えるのは非常時に限られると聞く。水



清田低区配水場

利権は困難な問題が伴うが、研究していきたい。

配水池は配水量の時間変動に対する調整機能と異常時の給水への影響の軽減をあわせ持っている。

現在でも配水池の運転は合理的かつ効率的な運転をするために常にピークカットを心がけ、配水量が多い日でも県水受水量が一定になるよう流入弁を調整している。これも今後研究していきたい。

中野房子（市政クラブ）

男女共同参画プラン  
策定後の進捗状況は

**問** 蒲郡市男女共同参画プラン策定後の進捗状況を伺う。

**答** 主な推進項目のうち、家庭・学校での教育充実、女性や子どもへの暴力の根絶、雇用機会均等の周知などはほぼ計画どおり実施されているが、男女共同参画都市宣言の実施、審議会等への女性登用、働く女性ネットワークの構築などが遅れている。

子どもの食生活改善を  
さらに取り組むように

**問** 蒲郡の子どもの将来のためにさらに食生活改善に取り組むべきだと思うがどうか。

**答** 学校教育の中で食習慣の重要性を指導することとはもちろん、父親・母親の食育指導をも徹底させ、幅広い人たちの参加の場を設け考えていきたい。

喚田孝博（市政クラブ）

少子化対策への  
取り組みについて

**問** 少子化対策としてファミリーサポートセンターを設置する考えはないか。また、竹島小への児童クラブ設置の予定はどのようか。

**答** ファミリーサポートセンターの必要性は認識している。提案のあったNPO法人の活用を含め、今後取り組む行動計画策定の中で議論したい。竹島小への児童クラブ設置は現在検討中であり、学校側も前向きに考えていただいている。

市民参画型・協働の  
まちづくり

**問** パートナーとしての市民へのアプローチは。

**答** 昨年度から試行的に勤労福祉会館内に市民活動サポートセンターを設置した。また、蒲郡協働まちづくり推進委員会も設け、二カ年の調査研究で推進計画を答申していただく。

波多野努（市政クラブ）

財政見通しと  
財源確保

**問** 平成十六年度の財政見通しは。廃止傾向にある



る税の前納報奨金制度を本  
市も見直すべきではないか。

**答** 市税収入の好転は期待できず国の交付税・交付金も先行き不透明である。今までの財源不足が予想される。前納報奨金制度は、今後、真剣に検討していきたいと考えている。

防犯対策について

**問** 旧ホテル「ふきぬき」への防犯対策の予定は。

また、市の防犯施策として新聞配達員による情報通報制度を提案するがどうか。

**答** ふきぬきへの対策は、不法侵入者排除の措置と周辺の環境整備をした。提案の通報制度は、警察の方がより効果的と考える。一度、市、警察署、新聞販売店等で協議したい。

松本昌成（公明党）

市有地の有効活用を

**問** 未利用市有地の積極的管理と有効活用の検討